

第四十七回
岩手県消防殉職者慰霊祭 開催する



定価 1部 60円
- 発行所 -
(公財) 岩手県消防協会
郵便番号 020-0021
盛岡市中央通3丁目
7番22号
電話 019 (654) 3991
FAX 019 (654) 3992
E-mail : isk@iwate-shokyo.jp
https://iwate-shokyo.jp/

印刷所
盛岡市本町通2丁目
河北印刷株式会社

「令和元年度全国統一防火標語」
ひとつずつ いいね! で確認 火の用心

(この機関紙は、日本消防協会よりの援助により発行しているものです)

令和元年度「第四十七回岩手県消防殉職者慰霊祭」が去る九月二十七日(金)午前十一時から盛岡劇場において、ご来賓・ご遺族並びに消防関係者一四五名が参列され厳かに執り行われました。慰霊祭は、岩手県消防協会・菊池一人副会長(北上市消防団長)の開会のことばの後、滝沢市消防団ラッパ隊の「国の鎮め」の吹奏の中、岩手県消防協会・新畑鉄男業務執行理事(二戸市消防団長)の発声により殉職消防職団員一七八柱の御霊に対して黙とうが捧げられました。

次に、本慰霊祭の祭主である岩手県消防協会・山下修治会長(宮古市消防団長)が祭詞を述べた後、ご来賓の達増拓也岩手県知事、日本消防協会・秋本敏文会長(代読:岩手県消防協会・佐藤隆土業務執行理事(一関市消防団長)、岩手県市長会・谷藤裕明会長(代理:勝部修副会長(一関市長))より慰霊の詞が述べられました。その後、ご遺族を代表して、平成二十三年三月十一日の東日本大震災において殉職された、大船渡市消防団(故岩城史朗様のご子息様岩城圭祐様が「追悼のことば」を述べられ、献花へと移りました。

献花に続いて、山下修治会長が参列者へ挨拶され、岩手県消防協会・雫石真一業務執行理事(盛岡市消防団長)の閉会のことばで慰霊祭が滞りなく終了いたしました。

なお、慰霊祭は県下消防関係者多数のご参列と、滝沢市消防団ラッパ隊、盛岡市消防団女性消防団員のご協力をいただき実施されました。衷心よりお礼申し上げます。



山下会長、大森名誉会員、本県ご遺族参列者

本年度は、五柱の御霊が新たに合祀されました。慰霊祭は、日本消防協会旗の入場後、日本消防協会・秋本敏文会長が御霊を奉納され、続いて参列者が御霊に黙とうを捧げ、秋本会長の式辞、ご来賓・ご遺族代表から「追悼のことば」が捧げられ、その後、参列者の皆様による献花が行われた後、(二社)江戸消防記念会の皆様による「鎮魂の歌(木遣り)」が捧げられ御霊の安らがるご冥福をお祈りいたしました。

なお、本県からは山下修治会長、大森忠雄名誉会員とご遺族六名が参列いたしました。

第三十八回
全国消防殉職者慰霊祭

日本消防協会主催による「第三十八回全国消防殉職者慰霊祭」が去る九月十二日(木)午前十時から日本消防会館ニッショウホールにおいて、安倍晋三内閣総理大臣、高市早苗総務大臣をはじめ多数のご来賓・ご遺族並びに全国の消防関係者が参列のもと執り行われました。

本年度は、五柱の御霊が新たに合祀されました。慰霊祭は、日本消防協会旗の入場後、日本消防協会・秋本敏文会長が御霊を奉納され、続いて参列者が御霊に黙とうを捧げ、秋本会長の式辞、ご来賓・ご遺族代表から「追悼のことば」が捧げられ、その後、参列者の皆様による献花が行われた後、(二社)江戸消防記念会の皆様による「鎮魂の歌(木遣り)」が捧げられ御霊の安らがるご冥福をお祈りいたしました。

令和元年度 東北地区消防連絡協議会

— 山形市で開催される —



令和元年度東北地区消防連絡協議会が、去る七月十八日(木)に山形市の「山形グランドホテル」において、東北地区の消防協会長、副会長、事務局長等が出席され開催されました。

この協議会は、消防団活動を取り巻く諸問題等について話し合い、日本消防協会や消防庁等に東北地区の総意として要望し課題を解決するために、昭和二十四年度から各県持ち回りで開催しているものです。

会議は、消防殉職者に黙とうを捧げた後、山形県消防協会の加藤会長を議長に指名し議事に入りました。

【要望事項】
● 緊急防災・減災事業債の延長要望について(新潟県消防協会)

【照会事項】
● 新日本消防会館建設に対する協力の対応状況について(宮城県消防協会)

● 消防団応援の店について(福島県消防協会)

● 消防団活動でのドローンの活用について(岩手県消防協会)
次期開催県は、宮城県で開催することとなり、宮城県消防協会・大村会長が開催の受託と案内のご挨拶されました。

第19回 全国中学生 『防火・防災に関する』作文コンクール 佳作入選作品紹介



釜石市立釜石中学校
二年 山田 真 嘉

『地域のヒーロー 消防団』

第19回全国中学生「防火・防災に関する」作文コンクールに全国から40点の応募があり、厳正な審査の結果、本県推薦の釜石市立釜石中学校2年山田真嘉さんが佳作に入選いたしました。

去年、近所で火事が起こったときに、「釜石市消防団、第〇分団の皆さんは、現場に急行してください。」という放送を聞いたことを今でも覚えている。

消防団の活動というものを、僕は直に見たことがないのだが、火事などが起こった時、消火活動をしていてくれることを思うと、感謝の気持ちで胸がいっぱいになる。

忘れもしない、二〇一一年三月十一日東日本大震災の時、避難誘導していた人たちの中にも、消防団はいた。皆がパニックになっていた時、声をかけてもらったり、励ましてもらったりした人は、とても安心したことだろう。また、がれきの撤去や行方不明者の捜索にも一役買っていた。消防団の方が土地勘に優れている故のことなのだろう。

消防団が日常的に行っている活動を調べてみた

ところ、夜警という活動が一番印象に残った。「空気が乾燥しているので、火の取り扱いにはご注意ください。」というような広報活動をしているのを見たことがある。

また、地域の避難訓練の時などに、消火器の使い方や、もしもの時、どのように避難すればいいのかを教えてくれた。市民の防災に対する意識を高める活動をしてくれることに対して、僕は、縁の下の力持ちとは、この人たちのことだと思った。

しかし、近年、少子高齢化が加速し、消防団を維持していくことは、なかなか難しいと思われる。大きな災害が起きた時、地域の住民だからこそできることがあるはずだ。

この作文を書くことで、地域の安全は地域の人々で守ることが大切なのだと思った。そして、地域の消防団の重要性を強く感じた。

私たちは、あと四年後に十八歳になる。消防団に入団できる年齢だ。釜石市は今年度、消防団員の定数八〇〇人であるところ、実員数は六三三人。そして、平成六年度から女性消防団員の採用が始まり、現在は十六人の女性消防団員が活躍しているとのことだ。四年後に十八歳を迎える私たちにとって、地域の安心安全を守ることは、決して他人事ではない。

地震、大雨、台風、土砂崩れ等々、たくさんの人々の安心が安全が守られている背景には、地域のことをよく知る消防団というヒーローがいるのだというのを、忘れてはいけない。私たちが、そのヒーローの一員になれるはずだ。

消防団とその活動に敬意を払いながら、いざというときには、私たちが自分たちにできることを探し、皆で地域を守っていききたい。

第二十四回 全国女性消防操法大会出場せまる!

令和元年十一月十三日(水)に横浜市の横浜赤レンガ倉庫イベント広場において、第二十四回全国女性消防操法大会が開催されます。

この大会は、女性の消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的として、隔年で開催されております。

この大会には、本県代表として北上市女性消防隊の出場が決定し、「家事」「育児」「仕事」の傍ら、出場選手をはじめ北上市女性消防隊全員が一丸となって日々の訓練を重ね上位入賞を目指し練習に励んでおります。



当日は、その成果が発揮できますよう、心からご健闘をお祈りいたします。

★出場順番

第二コース
十三番



令和元年度 岩手県幼少年婦人防火委員会 会長表彰決定する

令和元年度の岩手県幼少年婦人防火委員会会長表彰が決定し、各地区委員会委員長より表彰状と記念品が授与されました。

この表彰は、長年にわたり火災予防意識の高揚及び啓発に多大な貢献をされた団体並びに幼少年防火クラブの育成指導にあたられ火災予防意識の高揚及び啓発に多大な貢献をされた個人を表彰するものであります。

受賞者は次のとおりです。

★優良幼年消防クラブ(2団体)

来内保育園幼年消防クラブ(久慈市)
戸田保育園幼年消防クラブ(九戸村)

★優良少年消防クラブ(3団体)

中屋敷町少年消防クラブ(盛岡市)
花巻市立太田小学校少年消防クラブ(花巻市)
青笹小学校少年消防クラブ(遠野市)

★優良婦人消防協力隊(2団体)

一関市川崎町婦人消防協力隊
二戸市婦人防火クラブ連絡協議会

★優良幼少年消防クラブ指導者(2名)

甲東こども園幼年消防クラブ副園長及川幸子(釜石市)
更木幼稚園幼年消防クラブ園長山本ゆかり(北上市)

(表彰日…令和元年9月1日)



戸田幼年消防クラブ(九戸村)の園児と
二戸地区消防本部・荒谷消防課長、坂本分署長

第25回

全国女性消防団員活性化青森大会



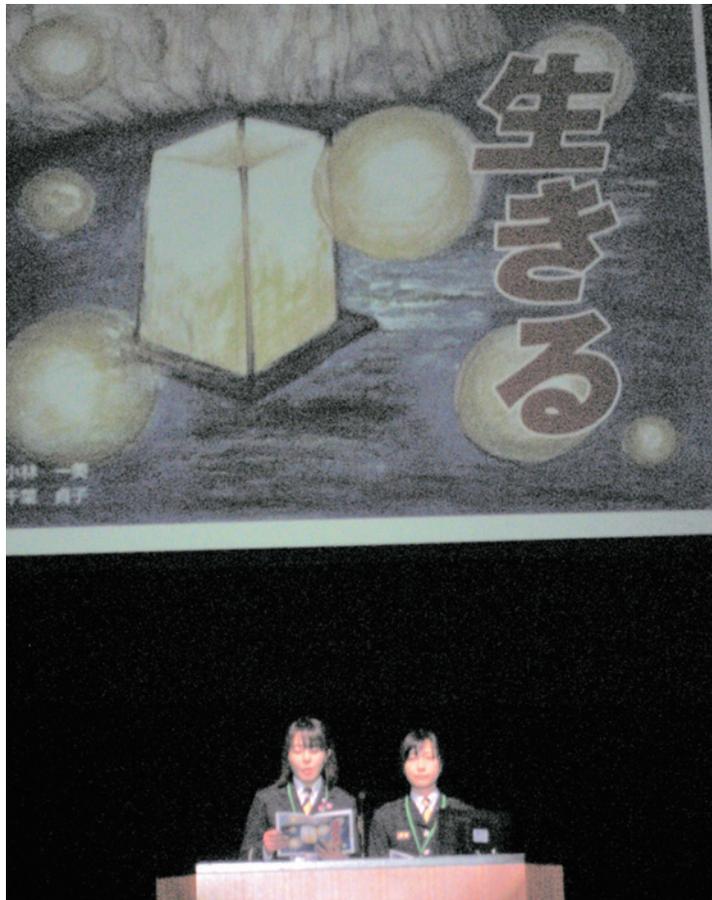
青森大会の本県参加者

第二十五回全国女性消防団員活性化青森大会が、去る九月十九日(木)午前九時から、青森市の「新青森総合運動公園青い森アリーナ(マエダアリーナ)」において、総務省消防庁、日本消防協会、青森県消防協会の主催により開催されました。

大会には、本県から六十六名の女性消防団員等が参加し、全国から二、〇〇〇名を超える女性消防団員並びに消防関係者が参加し開催されました。

開会式では、はじめに主催者挨拶として、林崎理消防庁長官が挨拶され、続いて、日本消防協会・秋本敏文会長が「二十五回目を迎えたこの大会に、全国から女性団員の皆さんが青森に集結し、地域の安全向上、住民の皆さんおひとりおひとりの幸せへの強い思いを共有しながら、情報の交流を進め、全国的な団結を一層強めることには限りない意義があります。」等と挨拶されました。そして、本大会の実行委員長である青森県消防協会・大湊一郎会長が歓迎の挨拶をされた後、来賓の紹介が行われました。

開会式に引き続き、活動事例発表、防火防災啓



活動事例発表の一関市消防団なのはな隊

発劇、記念講演、シンポジウムと移り、記念講演では、青森山田高校サッカー部監督の黒田剛氏による「勝ち続ける組織を作る」と題して講演が行われました。

閉会式では、次期開催地である徳島県消防協会・井住正三会長に大会旗が引き継がれました。なお、活動事例発表では一関市消防団が「『生きる』(一関市消防団なのはな隊の使命)」と題して発表を行いました。

本県参加者の皆様大変お疲れ様でした。



火災防ぎょ訓練

● 消防学校コーナー

第六十五期消防職員初任教育

卒業展示訓練・卒業式

去る九月三十日(月)、第六十五期消防職員初任教育の卒業展示訓練と卒業式が行われ、半年間の教育訓練を受けた七十三名が巣立っていきました。

晴天に恵まれ、御来賓や卒業生の御家族など大勢の方々が見守る中、はじめに卒業展示訓練が行われました。通常点検、中隊訓練、消防活動訓練及び火災想定訓練の順に行ないましたが、中でも中隊訓練は完璧な訓練を披露することができました。

また、消防活動訓練は、応急はしごによる上階からの要救助者救出訓練、訓練塔間にロープを張って渡る渡過訓練、高所からの降下訓練と続き、続く火災想定訓練は、高層ビル火災を想定した消火、救助及び救急活動の総合訓練が実戦さながらに行われ、最後に、高橋総代が御家族の皆様にあ挨拶を行い、終了しました。

卒業式では、高橋校長から学生一人ひとりに卒業証書が手渡され、成績が優秀で修習生活態度が他の学生の模範となった者や総代、副総代が表彰されました。

なお、受賞者は、次のとおりです。

- ◇ 岩手県知事賞 藤根 正識(花巻)
- ◇ 消防学校長賞 小野寺優騎(奥州金ヶ崎)
- 根口 龍馬(盛岡)
- 及川 侑(一関)
- ◇ 消防長会長賞 後藤 朱里(奥州金ヶ崎)
- 平井龍之介(盛岡)
- ◇ 校友会会長賞 松浦 駿(盛岡)
- 内澤 慶人(宮古)
- ◇ 消防協会会長賞 佐藤麻菜美(一関)
- ◇ 消防学校功労賞 総代 高橋 幹葉(盛岡)
- 副総代 松原 竜典(花巻)
- 副総代 橋本 陸(大船渡)

その後、高橋校長は「これからの長い道のり、幾多の障害を乗り越えながら、洋々たる前途を笑顔で切り拓いて欲しい、自分が選んだ道であり、選ばれし消防士であるから。君たちの健闘を祈ります。」と式辞を述べました。



卒業式で謝辞を述べる高橋総代

続いて知事(代理・千葉副知事)が「消防学校で学んだことを糧として、それぞれの現場において更に研さんを重ね、県民の安全安心な暮らしを守るため、職務に精励されることを願います。」と告辞を述べました。

さらには、山下消防協会会長、高橋矢巾町長、中村消防長会会長から、祝辞や激励の言葉をいただきました。

謝辞では、卒業生を代表して高橋総代が「今まで御指導いただいた教官方、家族、苦楽を共にした同期、全ての人に感謝し、これから先、身を賭して消防職務を遂行することを誓います。」と力強い決意を述べました。

関係機関の皆様には、これまでの御支援、御協力に対し、心から感謝申し上げますとともに、今後の御指導につきましても、よろしくお願い申し上げます。

消防団員さんをご紹介します



今日のダン 団員さん

釜石市消防団 団員
(第6分団第1部 班長(部長代理))

にほんまつ まこと
二本松 誠さん

- * 年齢：55 歳
- * 趣味：狩猟、釣り、山菜採り
- * 一言：ラグビーかぼちゃを作ってます

昭和 62 年に町内の先輩に誘われて消防団に入り 33 年になります。はじめは消防団の活動を覚えるのが精いっぱい先輩方には大変お世話になりました。

東日本大震災の時は、色々な教えを叩きこまれていたので、消防団員として精一杯活動することができたと思います。

半纏を着ているだけで、町内の方々から頼りにされて食糧の確保から不明者の安否確認など色々経験をしました。また、半纏を着ているだけで周りの人が私の指示を受けて活動をしてくれました。震災の時は半纏の重みと瀧金の重大さを痛感したので、あと何年消防団員を続けられるかわかりませんが、町民の方に信頼され、頼りになる消防団員になれるように活動していきたいと思っています。

営業品目

シバウラ小型消防ポンプ、ニッキ消防自動車
ホース乾燥塔 NAホスポール
操法用ホース販売、各種消防用機材及被服

県知事許可(般-27)第6269号

有限会社 文林商会

代表取締役 吉田 良一

本 社 / 一関市滝沢字鶴ヶ沢 7-59
TEL 0191-21-1119 (代)

盛岡営業所 / 盛岡市好摩字夏間木 83-122
TEL 019-682-0800

三陸営業所 / 上閉伊郡大槌町上町 2-12
TEL 0193-42-8090

営業品目

日本機械消防自動車 トーハツ小型消防ポンプ
ジェットホース ジェットシューター
各種消防用被服 消防団員絆纏 FV防火衣・ゴアテックス雨衣
ホース洗浄機・乾燥機 屯所用ホース乾燥塔

操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ 2 基真空ポンプ付

実感してください! 操法大会最適ホース。
NEWアスリート3 / NEWアンカー3

第1~2線用 最適ホース 第3線用 最適ホース

互光商事株式会社

代表取締役 玉川 康介

本 社 / 紫波郡矢町広宮沢 11-501-14
TEL 019-639-0505 (代)

ONDERASIGN ORIGINAL SIGN RESTORERS

株式会社 オノデラサイン

営業品目

のぼり・ミニのぼり・旗・横断幕・懸垂幕
バナー・半纏・のれん・タスキ・ハンカチ
風呂敷・手拭い・ポール・販促用品・POP 用品
ノベルティグッズ

■本社
〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 7-11
TEL 0195-22-1333 FAX 0195-22-1334

■盛岡営業所
〒020-0125 岩手県盛岡市上堂 1 丁目 6-6
TEL 019-613-6674 FAX 019-613-6675

株式会社古川ポンプ製作所

岩手県一関市山目字中野34-2
TEL0191-25-5221

単独型 プザー+音声タイプ

SS-2LQ/FJ シリーズ



住宅用警報器の交換時期が近づいておりましたら、お気軽にご相談ください。
消火器の廃棄処分も承っております。※有料です。

消防・防災用品のプロフェッショナル



松栄商事株式会社

消防施設工事業 岩手県知事許可(般-29)第4461号
<http://www.shoeshoji.com/>

- ◎本社 / 盛岡市天神町 13-27 Tel. 019-623-4364
- ◎二戸営業所 / 二戸市石切所字荷渡 1-9 Tel. 0195-43-4100
- ◎奥州営業所 / 奥州市江刺八日町一丁目 5-5-2 Tel. 0197-47-3464
- ◎宮古営業所 / 宮古市上鼻二丁目 3-15 Tel. 0193-65-7080

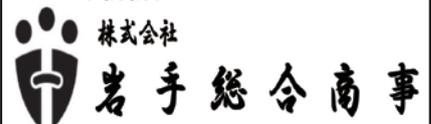
防災・避難用品インターネットショップ - しよういねっとショップ 検索



これからも
地域に安心を

株式会社 **岩野商会** 盛岡市本宮 1 丁目 17 番 6 号
TEL. 019-656-4753

消防防災トータルサポート



代表取締役 橋本 智和

〒029-0132

一関市滝沢字草刈場 135-20

TEL: 0191-48-4433

FAX: 0191-48-4432